

情報基盤グループ活動報告

工学部等部門 寸田 祐樹

工学部等部門 京泉 敬太

医学部等部門 久元 恵美子

技術センターでは、設立以降、全学的ニーズへの効果的・効率的な支援体制の実現に向けて、業務依頼・派遣システム、人材育成システム、個人評価システムの構築、さらには、技術部時代を踏襲した部門構成の再編について、試行錯誤を繰り返してきました。情報基盤グループの活動報告は、部門再編の視点に立って、全学ニーズの一つとして位置づけている「全学情報セキュリティ支援」を中心に、全学的な情報関連の技術支援に適した部門構成を探るべく、部門越えのメンバー構成で実践してきたプロジェクト的な活動である。

本稿では、メンバーの計画的研修状況、情報基盤グループのプロジェクトならびに HP 運用 WG のこれまでの活動について報告する。

1. 情報セキュリティ支援プロジェクト活動報告

1. 1 概要

広島大学技術センターには情報メディア教育研究センター等部門の技術職員以外、部局における情報セキュリティ従事者およびスキル所持者は15名程度と推測しており、2年間の HP 運用 WG の活動、各種研修、資格取得などを経て、全学ニーズの組織的支援の試みが可能な状況にあると考える（MCA セキュリティ有資格者は、平成19年4月現在16名である）。

一方、情報化推進部による全学的な情報セキュリティ維持強化が中期計画に沿って進められており、維持体制の脆弱部局対策として、HINET2007の導入を機に技術センタースタッフによる技術支援が計られている。特に、広く分散配属されている技術職員の地理的長所を活かし、現場での直接対応が期待されている。

当プロジェクトの基本的なねらいとして、業務依頼・派遣システムの試行は、現行業務維持の実現に重点が置かれ、新たなミッションである全学ニーズへの対応は段階的に試みることを基本方針としている。しかしながら、全学的ニーズも既に顕在化しており、その一つが本プロジェクトの情報セキュリティ支援依頼である。

本依頼は、計画性があること、また試行に耐え得るシーズが想定されることを踏まえ、全学的ニーズ対応への先行的試行として実施し、将来の技術センターの組織確立に役立てる（図1）。

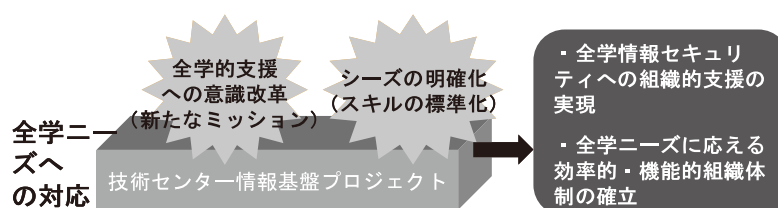


図1

1. 2 基本方針・方向性

部局セキュリティ委員会等・情報化推進部・IMC から構成される HUTC 情報セキュリティ支援連絡会において基本方針や方向性を検討協議し、技術センター情報基盤プロジェクト構成員に対し IMC が研修を行う。その後、情報セキュリティ委員会への参画、情報基盤維持管理支援、情報基盤全般コンサルテーション等の支援を行う。

技術センター情報基盤プロジェクトでは、効率的な技術支援・技術支援の安定化・効果的な人材育成・有効的な情報共有・支援技術の標準化を行い、情報基盤に関わる全学的ニーズへの効率かつ安定した対応の実現、情報セキュリティ専門技術者集団の確立をめざす。

1. 3 成果目標・運営成果

まず、現在情報セキュリティに携わっている技術者を中心に、HUTC 情報セキュリティ支援連絡会の研修計画に基づき、技術センターが持つシーズを明確化する。次に、配属先部局セキュリティ委員会への参画やサブネット管理者としての実践を積み、配属先部局に留まらず、複数部局の支援が可能なスキルを身につけていく。情報基盤に関わる人材育成を計りつつ、最終目標としては、情報セキュリティに限らず、情報基盤に関わる広範囲な技術支援体制を確立する。



H20. 4 情報基盤グループ化の確立

(技術センター新組織体制の試行開始)

H22. 4 情報基盤の全学的ニーズへの本格支援の実現

以下に、HUTC 情報セキュリティ支援連絡会メンバー (表1)、会議状況、HUTC 情報セキュリティ支援のための研修会の状況を示す。

表1 HUTC情報セキュリティ支援連絡会メンバー

| 所属 | 氏名 | 役職 |
|----------------|-------|-------------|
| 情報メディア教育研究センター | 西村浩二 | 准教授, 座長 |
| 情報メディア教育研究センター | 隅谷孝洋 | 准教授 |
| 情報メディア教育研究センター | 岸場清悟 | 助教 |
| 技術センター | 向井一夫 | 技術統括 |
| 技術センター | 勇木義則 | 技術副統括 |
| 技術センター | 村上義博 | 技術長 |
| 情報化推進部 | 和根山幹生 | 情報化推進課長 |
| 情報化推進部 | 角熊澄 | 情報化推進グループ主査 |
| 情報化推進部 | 市川哲也 | 情報化推進グループ主任 |
| 学術部 | 棚田孝志 | 学術推進グループ主査 |

HUTC 情報セキュリティ支援のための研修会

(1) ネットワーク運用基礎

日 時：2007年8月21日 (火) 14時20分～16時30分

場 所：IMC 本館1F 会議室

参加者：17名

(2) HINET の現状に関する研修

日 時：2007年8月28日 (火) 14時35分～16時30分

場 所：IMC 本館2F セミナー室

参加者：17名

(3) 本学セキュリティポリシーに関する研修

日 時：2007年10月10日 (水) 14時35分～16時05分

場 所：IMC 本館2F セミナー室

参加者：12名

(4) HINET2007に関する研修 (予定)

研修時間：2時間×3回

講 師：IMC 教職員

実施時期：12月～1月にかけて実施

会議状況

5月25日 第1回 HUTC 情報セキュリティ支援連絡会

- ・座長選出
- ・会議メンバーの所掌分担と職務内容の打ち合わせ
- ・連絡会の年間スケジュール (案) について
- ・研修計画 (案) の検討

6月15日 第2回 HUTC 情報セキュリティ支援連絡会

- ・研修内容及び実施時期について
- ・受講対象者の選出及び評価の視点について
- ・情報セキュリティ委員会への報告について

7月9日 第3回 HUTC 情報セキュリティ支援連絡会

- ・研修内容及び実施時期について (8/21, 8/28, 9/11)
- ・受講対象者の選出及び評価の視点について
- ・情報セキュリティ委員会への報告について (7/19報告)

11月13日 第4回 HUTC 情報セキュリティ支援連絡会

- ・研修の進捗報告
- ・残りの HINET2007に関する研修 (3回) について
- ・第8回情報セキュリティ委員会 (11月29日開催) への報告

2. WebCT 支援プロジェクト活動報告

2. 1 概要

本学において、E-learning (WebCT) の活用強化が計画されている。技術センターには、現在即戦力となる WebCT 専門家はいないが、実験実習担当技術職員には、WebCT の活用検討を求められているあるいは、WebCT を新たなスキルとして身に付け、その活用方法を検討している方が5~10名程度いると推測している。

教育室遠隔教育委員会により、教育室が中期計画に基き進めている本学の E-learning 活性化 (WebCT 利活用) を目指して平成18年度に設置された WebCT 支援室 (現 eLearning 支援室) の体制強化のために、遠隔教育委員会委員長から技術センター長に技術支援要請がきている。

2. 2 基本方針・方向性

eLearning 支援室支援プロジェクト (技術センター)・IMC・教育室から構成される eLearning 支援室構成員が授業担当者等に対して講習会の実施やヘルプデスク等の支援を行う。

eLearning 支援室支援プロジェクトでは、効率的な技術支援・技術支援の安定化・効果的な人材育成・有効的な情報共有・支援技術の標準化・計画的な研修実施を行い、新たなソフトの専門技術者集団の確立をめざす。

2. 3 成果目標・運営成果

まず、現在 WebCT と何らかの関わりがある技術者を中心に、教育室、IMC、技術センターで構成されている E-Learning 支援室での支援活動を開始する (基本知識を身につける)。支援活動、研修を通して、高度なスキルを身につけ、WebCT スペシャリストとして WebCT の新たな人材育成を計りつつ、最終目標としては、教育室が目指す E-learning (WebCT) の活用強化計画と連携して、E-learning に関わる全学的な技術支援体制を確立する。



H19. 6 eLearning 支援室の支援活動開始

H19. 7 eLearning 支援室の位置付けの明確化

H20. 4 eLearning 支援室の本格的な支援活動開始

なお、eLearning 支援室の支援メンバーは下表の通りである。また、当面の支援体制としては、対面対応、メール (els-admin@els.hiroshima-u.ac.jp)・電話 (内線 2465) による対応を平成19年6月11日から行う。

また、国際大学戦略セミナー (勇木, 京泉), NIME セミナー (三原), 情報教育研究集会 (中川, 三原) などの研修に参加している。

表2 eLearning 支援室支援メンバー

| 所属 | 氏名 | 役職 |
|----------------|------|---------------|
| 情報メディア教育研究センター | 中村 純 | 教授 |
| 情報メディア教育研究センター | 隅谷孝洋 | 准教授 |
| 情報メディア教育研究センター | 稲垣知宏 | 准教授 |
| 情報メディア教育研究センター | 長登 康 | 助教 |
| 技術センター | 勇木義則 | 技術副統括 |
| 技術センター | 村上義博 | 技術長 |
| 技術センター | 京泉敬太 | 技術主任 |
| 技術センター | 中川 敦 | 技術員 |
| 技術センター | 三原 修 | 技術員 |
| 教育室 | 前原俊信 | 教育研究科教授, 座長 |
| 教育室 | 中山広明 | 教育室教育企画グループ主査 |

表3 対面对応

| 曜日 | 時間 | 担当 |
|----|-------------|---------|
| 月 | 13:00~17:00 | 三原 (勇木) |
| 火 | 9:00~12:00 | 村上 (勇木) |
| 木 | 9:00~12:00 | 京泉 (勇木) |
| 金 | 9:00~12:00 | 中川 (勇木) |

3. 技術センターHP 運用 WG 活動報告

3. 1 技術センターHP の開設目的

技術センターシーズを学内外に広報し、学内ニーズへの啓蒙活動の一環として、また、他大学との相互啓発の場とするとともに、技術センター職員間の情報共有・コミュニケーションの場としても活用することを目的とする。

3. 2 技術センターHP の変遷

広島大学技術センターHP は、2005年3月18日に最初のバージョンが公開し、以後2006年3月、2007年1月、2008年1月にマイナーチェンジを行った。

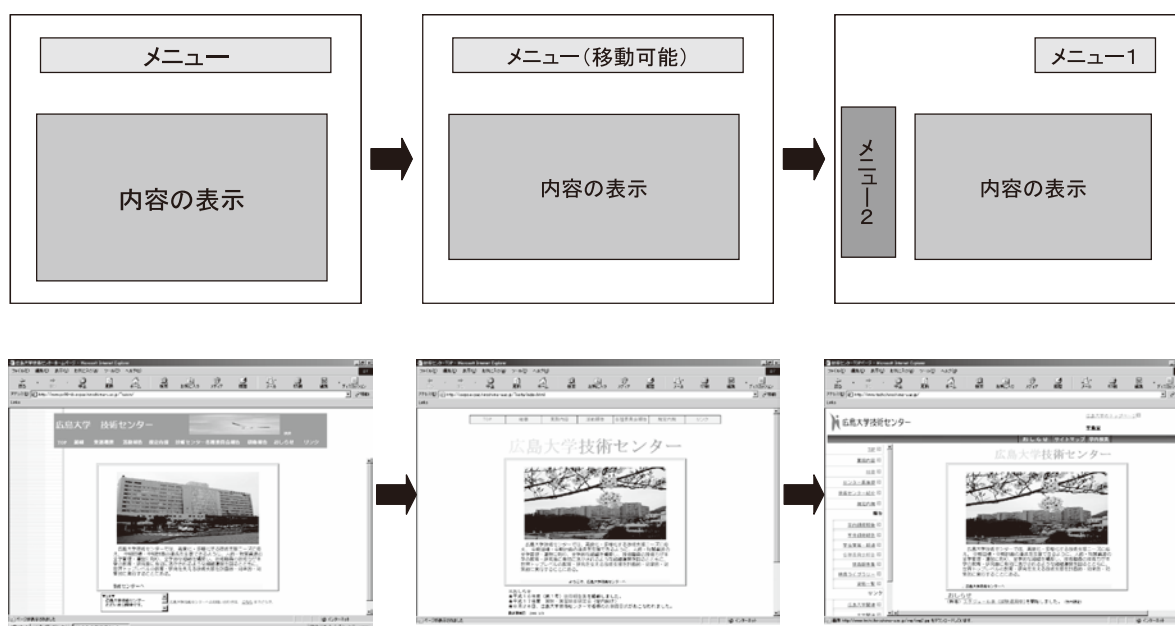


図2 技術センターHP のデザインの変化

3. 3 HP 運用 WG の活動

平成17年2月7日の第1回 WG からこれまでに、WG を平成17年に10回、平成18年度に7回、平成19年度に4回開催している。運用当初より、主に技術センター職員向けに、技術センターに関連する情報を掲載してきた。今年6月には、今後の HP 作成に向けたアンケートを実施し、今後の方針の参考

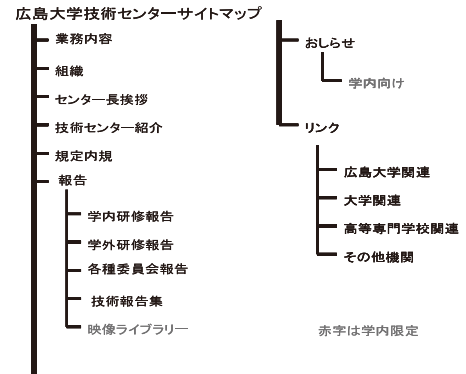
とした。また、個人でHPを掲載し、各人の情報発信の一助となるよう、HP作成講習会を3回開催している。

表4

HP 運用 WG

| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 |
|-----|--------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|
| 第1回 | 2月 7日 (月) 13:30~15:00 | 4月21日 (木) 13:30~15:00 | 5月10日 (木) 15:30~17:30 | 4月20日 (金) 15:30~16:50 |
| 第2回 | 3月15日 (火) 13:30~15:00 | 6月 2日 (木) 15:00~17:00 | 6月23日 (金) 15:30~17:00 | 6月15日 (金) 15:30~17:00 |
| 第3回 | | 7月14日 (木) 15:00~16:00 | 7月28日 (金) 10:30~11:30 | 7月31日 (火) 15:30~17:20 |
| 第4回 | | 9月22日 (木) 15:00~17:00 | 9月29日 (金) 13:00~14:30 | 9月12日 (水) 15:00~16:40 |
| 第5回 | | 10月28日 (金) 16:30~17:30 | 10月31日 (金) 15:00~17:00 | |
| 第6回 | | 12月 9日 (金) 16:00~17:30 | 12月15日 (金) 15:30~17:15 | |
| 第7回 | | 2月10日 (金) 15:00~16:30 | 2月16日 (金) 15:00~17:00 | |
| 第8回 | | 3月14日 (火) 16:00~17:30 | | |

表5 サイトマップ



HP 講習会

| 会場 | 日時 | 内容 |
|-------|----------------------------|--------------|
| 東広島地区 | 平成18年8月23日 (水) 15:30~17:30 | HPの基礎 |
| 霞地区 | 平成18年9月 5日 (火) 15:00~17:00 | HPの基礎 |
| 東広島地区 | 平成19年3月 9日 (金) 14:30~17:00 | HP作成・FTPの使用法 |
| 東広島地区 | 平成19年9月21日 (金) 14:00~15:40 | スタイルシートについて |

表6 HP 運用 WG メンバー



写真1 HP 講習会風景

| 所属 | 氏名 | 役割 |
|-------------------|--------|------|
| 情報メディア教育研究センター等部門 | 村上 義博 | 委員長 |
| 原爆放射線医科学研究所部門 | 平岡 正行 | 副委員長 |
| 工学部等部門 | 京泉 敬太 | 副委員長 |
| 技術副統括 | 勇木 義則 | 委員 |
| 理学部等部門研究情報機器技術班 | 藤高 仁 | 委員 |
| 医学部等部門 | 神崎 道文 | 委員 |
| 医学部等部門 | 新開 薫 | 委員 |
| 医学部等部門 | 久元 恵美子 | 委員 |
| 原爆放射線医科学研究所部門 | 田井 里佳 | 委員 |
| 生物圏科学研究科部門 | 窪田 浩和 | 委員 |
| 生物圏科学研究科部門 | 竹田 重寿 | 委員 |
| 情報メディア教育研究センター等部門 | 中川 敦 | 委員 |
| 工学部等部門 | 三原 修 | 委員 |
| 工学部等部門 | 開内 幸治 | 委員 |
| 工学部等部門 | 寸田 祐樹 | 委員 |

4. 結び

以上、部門越えのメンバー構成で実践してきたプロジェクト的な活動の報告2件とHP運用WGについて、報告しました。2つのプロジェクトについては今までは準備期間であり、それぞれ、HINET2007への支援 eLearning 支援室への支援とこれからは本番となります。また、HP運用WGも平成20年4月から始まる業務依頼派遣システムへの対応が控えており、技術センター構成員の皆様にはますますのご協力をお願いいたします。